

令和3年度 第1回花見川区支え合いのまち推進協議会議事要旨

日 時 令和3年8月11日(水) 午後3時～午後5時

場 所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数	18人
欠席委員数	7人
オブザーバー	1人
傍聴人	0人
事務局	10人

【1】次第

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員紹介
- 5 会議の公開について
- 6 議題
 - (1) 委員長・副委員長の選任について
 - (2) 「花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況（平成30年度～令和2年度）について
 - (3) 「花見川区支え合いのまち推進計画（第5期花見川区地域福祉計画原案）について
- 7 閉会

【2】議事要旨

委員定数25名のうち、7名の欠席を確認し開会した。

区長挨拶の後、委員改選後初めての会議のため、委員紹介及び事務局職員紹介を行った。

事務局より、会議の公開について説明があり、傍聴人の入室、会議録の作成、ホームページ及び推進協だより等への掲載のため、写真撮影、録音を行うことについて、また自治会等を通じ地域住民や公共の場に公開させていただく旨、了承を得た。（今回傍聴人0名。）

議題

- (1) 委員長・副委員長の選任について

市原保健福祉センター所長が仮議長となり、委員長・副委員長の選任が行われた。

委員長については、金子委員から原田委員を推薦する提案があり、他に推薦者はなく、全会一致で原田委員を委員長に選任した。

続けて、副委員長については、清水委員から金子委員を推薦する提案があり、他に推薦者はなく、全会一致で金子委員を副委員長に選任した。

原田委員長、金子副委員長が席を移動し、それぞれ就任のあいさつをした。

以後の議事進行は原田委員長により行われた。

議題

- (2) 「花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況（平成30年度～令和2年度）について

原田委員長から第1期からの地域福祉計画の位置づけについて説明があった。続いて、事務局から、事前配布していた資料の補足説明があった。

質疑応答はなく、議案2は承認された。

議題

- (3) 「花見川区支え合いのまち推進計画（第5期花見川区地域福祉計画原案）について

始めに地域福祉課佐藤主査から第5期花見川区支え合いのまち推進計画の策定についての説明があり、続いて、花見川区高齢障害支援課田口主査から第5期花見川区地域福祉計画原案についての説明があった。

<質疑応答>

- 原田委員長** (原案1ページ)「1区の現状」の令和3年に75歳以上のデータを加えてほしい。75歳以上のデータと14歳以下のデータで将来人口の増減を予測できる。さらに、世帯数及び世帯人数(平成18年度と令和3年度)も加えてほしい。
- 事務局(田口)** 次回会議でレイアウトを工夫してデータを入れるようにします。
- 蔵屋委員** (原案5ページ)の「③高齢者や障害者施設のボランティアの体験等」の件については、コロナ前は10か所の施設でボランティア活動をしていたが、現在、コロナの影響ですべてストップしているので、計画に入れていいの心配。
- 加藤(裕)委員** 私のいる障害者施設では、現在職員にPCR検査やワクチン接種を行っている段階。外部の人は、一定の条件、PCR検査を受けている、ワクチン接種済等の条件を付けて、少人数を受け入れていこうという方向で進めている。
- 原田委員長** 注意書きで「新型コロナウイルスが終息するまでは活動を見合わせます。」と表記したらどうか。
- 事務局(田口)** 今回のご意見を参考に次回に修正案を提示します。
- 吉松委員** 担い手づくりに関しては、介護の視点から呼びかけてもなかなか集まらない。災害に備えた危機管理の視点から呼びかけた方が若い人も集めやすいのではないかと考えている。
- 原田委員長** 私は、危機管理に結び付けて若い人を引っ張り出すのは難しいので、80代の動ける高齢者が、支援が必要な高齢者を支えるしかないのではと思っている。
- 吉松委員** 委員長の言う高齢者が高齢者を支えるということはその通りに思う。高齢者は行政が呼びかけないと動かないのではないかと。また、車いすの動かし方、体の不自由な方の支え方など、学校などの教育現場で学ぶ機会を作ってほしいと思う。
- 原田委員長** 担い手に関しては、①高齢者の活用と、②防犯パトロールや学校など若い人を引き込めるものを通じて、掘り起こしを行うことしかないのではないかと。
- 橋立委員** (原案4ページ)基本目標について、①「創造」を「発展」に替えた方が良いのではないかと、②「子育て世帯から高齢者まで」となっているが、「子ども」の方が良いのではないかと、③転入されたばかりの人もいるので、「住みなれた地域」は削除した方が良いのではないかと。
- 鈴木委員** 世代の視点だけでなく、障害者なども対象とした表現、例えば「すべての人が」などの方が良いのでは？
- 原田委員長** 委員によりいろいろな意見があるので、文言の取りまとめは事務局に一任したい。
- 事務局(田口)** 皆さんの意見を参考にしながら次回修正案を提出します。
- 蔵屋委員** 以前と違い、今回の緊急事態宣言では、コミュニティや公民館の部屋が借りられるが、これは市の対応が変わったのか確認したい。
- 折原区長** 去年4～5月の緊急事態宣言の時は、広く自粛要請がなされ、(公民館等)諸室の貸出も停止したが、宣言解除後に業界ごとにガイドラインを作成し感染予防対策が徹底された。今年1月～3月の緊急事態宣言時は制限の範囲も縮小し、諸室についても時間の制限だけとし、貸出業務自体は継続した。今回の緊急事態制限でも同様の対応をしている。根拠としては、県の緊急事態措置になります。
- 蔵屋委員** この会議について、オンライン会議を検討できないか。
- 原田委員長** 会議については検討していく。地域の活動については社協で方針(ガイドライン)を出して、それに則って活動している。配布先は？
- 事務局**
(社協猪野所長) 社協の各地区部会宛に送っています。
- 原田委員長** 私と事務局で協議して次回に修正案を提出するので一任してもらってよろしいか。
- 事務局(田口)** 重点取組項目を第5期計画に盛り込むことが可能か、各地区部会長のご意見を聞きたい。

- 原田委員長 9月末までに重点項目を出してもらえないか。
- 鈴木委員 さつきが丘・宮野木台地区部会では重点取組項目を選ぶのは難しい。地区部会には5つの委員会があり、どこの委員会も一生懸命に活動しているので、その活動の中から重点を選ぶのが難しい。
- 清水委員 目標を決めたとしても、今年度は活動が実施できるかどうかかわからず、活動ができなかったということにも十分なり得る。そのため、目標を出したとしても、コロナが終息した後の活動計画ということでもよいなら出せる。どこの地区部会もそうではないか。
- 事務局(田口) 今回の計画は来年度からなので、今年度の活動は考慮しなくていいです。地区部会での重点取組項目の選定について、コロナ禍でもあるので、各地区部会の実情を伺いたい。
- 原田委員長 地区部会で何か活動しているのなら、それを書けばいいのでは。
- 鈴木委員 どこの班も頑張っているのです。
- 原田委員長 第4期の重点項目と同じ考え方でいいのでは。
- 鈴木委員 できることを書きます。
- 原田委員長 難しく考えないで、地区部会で活動できることを一つでも二つでも書いてもらえばいい。
- 小西委員 一部を除いて活動を中止しているが、来年度からは活動できると思うので1つか2つなら出せると思う。
- 岡久委員 (重点取組項目を) 作ります。
- 長津委員 会長が体調を崩しており現在は活動停止中ですが、来年度からの活動再開に向けて何らかの目標を立てておくことは必要と考えています。
- 長島委員 持ち帰り、検討し(重点取組項目を設定)できるように頑張りたいと思います。
- 相馬委員 原案については特にありません。(重点取組項目の設定については)持ち帰って検討します。
- 橋立委員 5つの委員会が動いているので、取捨はなかなか難しい。今年度は広報しかできないかも知れませんが、(重点項目の選定を)やっていきたいと考えています。
- 事務局(社協猪野所長) 欠席4地区部会への対応はどうしたらよいでしょうか。
- 原田委員長 4地区部会に今日の結果を報告して9月末日までに重点項目を提出してもらってください。
- 事務局(社協猪野所長) わかりました。
- 原田委員長 9月末までの重点取組項目を出してもらえば、次の推進協に間に合いますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。
議題3については以上にします。事務局から何かありますか。
- 事務局(田口) 次回は第5期花見川区地域福祉計画原案を議題として10月中旬に開催予定です。日程が決まりましたら、正式に通知します。
重点取組項目についてですが、各地区部会長さんは、10月1日(金)までに区社協事務所まで報告をお願いいたします。
- 原田委員長 重点項目は各地区の既存の活動で数値化しやすい活動の一つでも出してもらえば結構です。

(閉会)

原田委員長が閉会挨拶し、午後5時、花見川区支え合いのまち推進協議会を閉会した。